

第3章 高齢者の状況に関する将来推計

第1節 高齢者の人口推計

1 人口推計

平成 21 年度から平成 26 年度の住民基本台帳の総人口を基に、コーホート変化率法（サンプル年度間の各年齢階層別の人口変化率に基づく将来推計）によって、平成 37 年度までの総人口及び高齢者人口を推計したものです。

総人口は、少子化の影響により今後減少することが見込まれ、平成 37 年度には 6,000 人程度減少し、47,175 人となることが予想されます。

一方、65 歳以上の高齢者人口は、平成 30 年度をピークに減少が見込まれますが、総人口がそれを上回る割合で減少することから、高齢化率は引き続き上昇していくことが見込まれます。

高齢化率は、第 6 期計画期間中の平成 28 年度には 33.7%（約 3 人に 1 人が高齢者）となり、平成 37 年度には 36.0%まで上昇することが見込まれます。

また、要介護（要支援）認定率の高まる 75 歳以上の高齢者数は引き続き増加が見込まれることから、今後、要介護（要支援）認定者数の大幅な増加が見込まれます。

人口の推計

（単位：人）

区分/年度	27	28	29	30	31	32	37
総人口	52,759	52,315	51,839	51,333	50,800	50,242	47,175
40 - 64 歳	16,709	16,505	16,284	16,122	16,049	15,910	15,033
65 歳以上 （高齢化率）	17,359 32.9%	17,608 33.7%	17,790 34.3%	17,869 34.8%	17,787 35.0%	17,698 35.2%	17,004 36.0%
65-74 歳	9,486 18.0%	9,310 17.8%	9,053 17.5%	8,698 16.9%	8,276 16.3%	8,056 16.0%	6,210 13.2%
75 歳以上	7,873 14.9%	8,298 15.9%	8,737 16.9%	9,171 17.9%	9,511 18.7%	9,642 19.2%	10,794 22.9%

※ %は総人口比

基準日：各年度 10 月 1 日

第2節 要介護（要支援）認定者の将来推計

1 要介護（要支援）認定者の将来推計

平成 26 年度の要介護（要支援）認定者の性別・年齢別の発生率と前 1 年間の認定者の伸び率を基に、平成 37 年度までの要介護（要支援）認定者の推計を行った結果、本計画の最終年度となる平成 29 年度には 2,898 人、平成 37 年度には 3,614 人に増加することが予測されます。

要介護度別では、中・重度認定率の高まる 75 歳以上の高齢者が増加傾向にあるため、要介護（要支援）認定者に占める割合が上昇していくことが見込まれます。

要介護（要支援）認定者の将来推計

（単位：人/月）

区分/年度	27	28	29	30	31	32	37
要支援 1	294	297	309	331	337	344	403
要支援 2	354	355	367	383	394	402	439
要介護 1	668	698	707	738	759	774	898
要介護 2	428	437	448	477	497	512	587
要介護 3	325	349	383	415	429	437	459
要介護 4	337	357	398	432	444	452	475
要介護 5	276	281	286	293	299	307	353
計	2,682	2,774	2,898	3,069	3,159	3,228	3,614
認定率	15.5%	15.8%	16.3%	17.2%	17.8%	18.2%	21.3%

※ %は 65 歳以上人口比

基準日：各年度 10 月 1 日